

第21回テーマ：
摩耶詣について

講演内容

- ①六甲三山（六甲山、摩耶山、再度山）の自然と歴史、文化と宗教
- ②摩耶山と文人・墨客の交流
- ③西国の奇習・奇祭「摩耶詣」

実施日：平成16年12月11日（土）
午後1時～3時50分

場 所：六甲山YMCA
里見ホール



講師：伊藤 浄厳さん

プロフィール

昭和13年神戸市生まれ
昭和47年高野山大学大学院文学研究科博士課程修了。昭和49年高野山大学文学部仏教学科専任講師。平成8年高野山専修学院能化。昭和50年より摩耶山天上寺貫主。



天上寺参道

六甲山YMCAの暖炉と再会

8ヶ月ぶりに会場を六甲山YMCAに移しました。敷地内ではシジュウガラ、メジロ、ジョウビタキが樹木を飛び回り、師走の寒さも感じませんでした。講演前には暖炉がある里見ホールで、伊藤貫主と一緒に参加者がカレーライスを食べながら懇談をしました。講演では焼きいもをいただきながら、質疑応答も活発でした。そして、再度お話を伺いたいという要望が集まりました。

西国の名刹「切利天上寺」

今回は六甲山上の西にある、摩耶山天上寺の伊藤浄厳貫主にご講演いただきました。天上寺は、大化二年（西暦646年）、インドの高僧法道仙人が開創された由緒あるお寺です。弘法大師が釈迦の生母摩耶夫人尊を天上寺に奉安され、摩耶夫人の昇天された「切利天」の名にちなんで寺の名を「切利天上寺」と号し、これが略されて「天上寺」と呼ばれているそうです。

天上寺が略名であったことに大変驚きました。最盛期には、約三千人の僧を擁する摂津地方第一の大寺であったなど、興味深いお話を伺いました。



天上寺に関心を高める参加者

主催：六甲山自然保護センターを活用する会
後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館
灘区役所 神戸市教育委員会

全国的に知られた民俗行事「摩耶詣」

摩耶山は俳句が有名で、「摩耶詣」は春の季語として歳時記に載っています。摩耶詣とは、飼馬の無難息災を祈るために馬を連れて天上寺を参拝する西国の珍しい行事です。摩耶詣には蕪村ほか、有名な文人や俳人が訪れており、俳句から当時の摩耶山の賑わいの様子を偲びました。

神戸で伝統や文化を大切にしよう

天上寺では摩耶協議会の主催で「摩耶詣祭」を毎年開催し、民俗行事を伝統文化として守っています。伊藤貫主が、神戸は一過性行事になる傾向があり、文化が長続きしないと問題を提起されました。伝統や文化を定着していく大切さを改めて考えました。

※詳しくは1～2ページをお読みください。

参加の感想 半田 陽生さん

六甲山YMCAの暖炉のある部屋で、薪の燃える匂いの中、博覧強記の伊藤浄厳貫主のお話は「摩耶詣」にとどまらず、神戸人気質の新しいものを受け入れる良さの反面、古いものを大切にしない等、的をいたお話に同感あり反省ありでした。

思いがけず石焼きいもを作ってください熱々をご馳走になり、スタッフのお心配りにお礼申し上げます。

四季折々の摩耶六甲を訪ねて俳句を作りたいものと改めて思いました。



【助成金をいただいている機関】

灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金



テーマ：摩耶詣について



第21回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. あいさつ : 13:00~13:10
2. 講演 : 13:10~14:50
3. 休憩 : 14:50~15:00
4. 質疑応答 : 15:00~15:50

講演

- ①六甲三山（六甲山、摩耶山、再度山）の自然と歴史、文化と宗教
- ②摩耶山と文人・墨客の交流
- ③西国の奇習・奇祭「摩耶詣」



講演のあいさつ(伊藤 浄厳さん)

キリスト教のYMCAで話をしているのかと思われませんが、実は古くから交流があります。日本や外国で「世界宗教者会議」が行われ、比叡山や高野山などで世界の宗教者が集まります。



伊藤浄厳さん

仏母摩耶夫人尊は、女性のあらゆる難病や苦しみを救い給う女尊であり安産と子育て、子授かりの守護仏として全国的に知られている。日本で最初に安産腹帯を授けた寺として有名である。



仏母摩耶山切利天上寺扁額

講演内容

由緒ある「摩耶山天上寺」

天上寺は、飛鳥時代の大化2年(西暦646年)、孝徳天皇の勅願により、インドの高僧、法道仙人が開創された由緒あるお寺である。最盛時には比叡山、高野山、摩耶山と並べられ、伽藍が三百、僧数は三千人という大寺であった。(江戸時代には50ヶ寺、幕末には10ヶ寺、現在は4ヶ寺)

ご本尊はお釈迦様が自ら造られたといわれる、「十一面観世音菩薩像」で、大きき一寸八分(約6cm)の黄金の仏像。秘仏でありご本尊の胎内に納められている。法道仙人が中国を経て日本に伝来し八州(摂津、播磨、淡路、河内、和泉、紀伊、但馬、丹波)の守護仏とされた。



法道仙人の像



仏母摩耶夫人尊

■仏母摩耶夫人尊

平安時代に弘法大師が、唐に留学した際に当時中国で女人守護の御仏として盛んに崇拝されていた摩耶夫人(まやぶにん)像を、日本に請来され天上寺に泰安された。摩耶夫人はお釈迦様の生母であり、仏教の聖母とされている。以来、当山を「仏母摩耶山」(略して摩耶山)、寺名を「切利天上寺(とうりてんじょうじ)」と号するようになった。「切利天」は須弥山の上にかかっている天で、その上にある寺の意。天城通の上にある寺ではない。(笑)

摩耶詣 ～まやもうで～

摩耶詣とは、江戸時代から旧暦2月の初午の日に近隣の人々が馬を連れて天上寺に参詣し、飼馬の息災を祈願した。

「摩耶かんざし」と呼ばれる花かんざしを馬に飾り、土産に若狭から運んだ昆布「摩耶昆布」を糸に通して持って帰ると言う珍しい風習。「摩耶詣」は俳句の春の季語として歳時記などで紹介されている。

■人も動物も共に生きる「生活共同体」

馬は人間に役立つ物でなく、馬は共に働き生活する生き物「生活共同体」とされていた。人間だけでなく馬にも慰労をして厄除けをしに詣でた。家に帰って神棚に摩耶昆布を吊り下げ、子どもには摩耶かんざしをつけ「生活共同体」を知らせながら遊んだ。遊びながら子供に教え、行事を伝えていった。

摩耶山は庶民により親しみやすく開かれた山として、摩耶山信仰は神戸や大阪を超え広がっていた。明治末頃からは近代化で馬が少なくなり、必要もなくなって、摩耶詣も廃れていった。山の馬道もなくなった。

■摩耶詣の復活

天上寺では摩耶協議会の主催で、神戸の伝統文化として守り続けるために昔の習わしを再現した「摩耶詣祭」を毎年お彼岸の中日に開催している。

六甲山牧場の馬を借りて行っている。大きい馬は扱いが大変なので、小さな馬を使っている。木曾馬や与那国馬などの小馬たちである。



摩耶詣祭

摩耶山を訪れた俳人や文人墨客

「摩耶詣」「摩耶参」「摩耶昆布」が俳句の季題に選定されことにより、摩耶山は俳句の山で有名になった。天上寺にある碑には下記のような句歌が書かれている。



蕪村句碑

菜の花や
 月は東に
 日は西に

山の名を仏の母ときくからは
 これぞまことの慈悲のみなかも
 花山院歌碑

極楽はこころよ春の切利天
 横むきに仏を拝むさくら哉
 窓雨一音句碑

筒鳥の鳴く摩耶の坊借りにけり
 五十嵐播水句碑

なつかしの濁世の雨や涅槃像
 阿波野青畝句碑

仏母たりとも女人は悲し灌仏会
 橋本多佳子句碑

たんぼぼや少年の日のいつかなし
 林大馬句碑

■近松門左衛門

近松門左衛門の、さきがけの作品である『仏母摩耶山開帳』を本堂落慶記念に皆さんに贈呈した。尼崎や西宮から研究家が天上寺を来訪するが、神戸の人には全くといっていいほど知られていない。

■泉鏡花

摩耶山を舞台にした伝奇小説『峰茶屋心中』。山々を自由自在に描写。泉鏡花は明治人であったが、発想豊かで巧みな日本語で摩耶山を表現している。

興味の尽きないお話

- ・奇数は縁起の良い数字で3や7は特にいい数字。安定する数字、成就数。3は永遠数、7は完成数。人には1礼、神には2礼、仏は3礼。(3回繰り返す)
- ・摩耶山は原生林が残っているので摩耶道を歩き面白い発見につなげてほしい。
- ・六甲山・摩耶山は江戸時代の百名山に入っている。
- ・ヨーロッパ人は、海、港、町、田園の4つの風景が揃っていると理想的な都市文化がつけると言う。神戸はまさに当てはまる。
- ・六甲山はグルーム氏が開祖といわれているが、それ以前から里山として開かれていた。等々

神戸に伝統文化を～伊藤貫主～

神戸は人口移動が激しく、定住して代々住む人は非常に少ない。現在の世界的な近代都市国家の流れと考えられる。およそ30年交替で建物が建て変わる、「掘り起こし」が神戸の特徴。これでは文化が育たない。また行事を宣伝しないとすぐに忘れてしまい、一過性行事になる傾向があり、なかなか長続きしない。京都のように恒例行事を生活文化にして欲しい。



質問に答える

一気に大きなことをしようとせず、このセミナーの主旨のように、地道に参加してもらいながら魅力を知ってもらうことが大切だ。

六甲山の「不易流行」を実感 ～事務局～

今回のお話で天上寺を改めて見つめ直し発見がありました。改めて、天上寺にてお話を伺う機会を設けたいと思います。来年の摩耶詣を見物できるのが楽しみです。そして、神戸の伝統文化を大切にしていきたいと思います。

◆参考・配布資料など：

- ・摩耶天上寺パンフレット
- ・摩耶山天上寺絵図
- ・摩耶詣『図説俳句大歳時記・春』より抜粋
- ・各種行事案内パンフレット

◆天上寺へのアクセス

交通：JR三宮駅、六甲道駅、阪急六甲駅から神戸市バス18系統に乗り「摩耶ケーブル下駅」で下車、まやケーブル・ロープウェイで山上「星の駅」へ。自然観察園を通り徒歩にて約10分

摩耶山天上寺
 〒657-0105 神戸市灘区摩耶山町 2-12
 TEL：078-861-2684
 FAX：078-801-2200

※参加者の皆様へ：カンパ箱へのご協力ありがとうございました。



◆参加者：32名（順不同・敬称略）

- 伊藤 浄厳 小坂 忠之 八木 浄 村上 定広
 澤田 中 浅井 審一 浅井 康枝 呂
 北山健一郎 石田 澄子 大谷安規永 新木 里志
 高光 正明 吉松 昌紀 霜田 泰功 水谷 真平
 久保 紘一 山本 悟而 小林 俊彦 半田 陽生
 渡辺 洋 常見甲子次郎 三島 嘉浩 小久保 晃
 下村 光子 門 昭子 尾崎 尚子 白岩 卓巳
 堂馬 英二 小野 律子 藤井宏一郎 菖蒲 美枝